

教科名	地理歴史	科目名	歴史総合	単位数	2		
授業形態	講義形式						
選んで ほしい生徒	1年次生全員（必履修）						
科目の目標	世界とその中における日本を広く相互的な視野から捉えて、近現代の歴史を理解する。課題の解決を視野に入れて、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察する。歴史の大きな変化に着目し、問い合わせを設け、資料を活用しながら歴史の学び方を習得する。						
身に付けて ほしい学力	歴史的事象をへて、人々の生活と社会の在り方が変化したことを扱い、世界とその中における日本を広く相互的な視野から捉えて考察し、現代的な諸課題の形成に関わる歴史を理解する力を、身に付ける。						
学習計画	単元・教材 【1学期】 第1部 歴史の扉 第2部 近現代の世界と日本 第1章 近代化と私たち 【2学期】 第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 【3学期】 第3章 グローバル化と私たち		学習のあらまし				
評価の観点・ 評価方法	知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・近現代史の変化に関わる諸事象について、世界と日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 ・諸資料から歴史に関するさまざまなお情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けています。 		思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・近現代史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的な課題の解決を視野に入れて構想したり、その考察や構想を基に議論したりすることができます。 		主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。 ・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。 		
学習の アドバイス	1 授業は、単元ごとに学習課題を提示し、その課題に関する教科書等の内容理解を深めて、最後にはその課題についてまとめる形式で進める。授業の内容理解を深めるために、授業プリントを活用し、授業中の話をメモするなど、自分なりに工夫して授業に取り組むこと。 2 定期考查は教科書や副教材に書いてあることだけでなく、授業内で学習したことが出題される。特に視覚的資料や授業内での諸活動を通して学んだことは考查前に振り返ると良い。 3 授業内の諸活動(議論や発表等)の取組姿勢も評価されるので、積極的に参加すること。						
教材費	補助教材：715円（税込）						
その他	特になし						

教科名	地理歴史	科目名	世界史探究	単位数	2			
授業形態	講義形式、問題演習							
選んでほしい生徒	四年制大学への進学を希望する文理コースの生徒							
科目の目標	「歴史総合」の学習を踏まえ、世界の歴史の大きな枠組みと展開について理解を深め、地球世界の課題とその展望を探究する力を養う。							
身に付けてほしい学力	1 大学等の専門的教育に対応しうる歴史的素養や思考力 2 大学入学共通テストに対応できる学力 3 四年制大学の一般入試に対応できる学力							
学習計画	単元・教材 【1学期】 第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 【2学期】 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 【3学期】 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジアの諸帝国の繁栄			学習のあらまし <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境と人類の歴史との関わりや、身の回りの事象と世界の歴史との関わりを考察し、世界の歴史を学習することの意味や意義を理解する。 ・歴史的に形成された諸地域の多様性、諸地域の複合的なつながり、諸地域の構造的な連関性という点から諸資料を活用して読み解き、世界の歴史の大きな枠組みと展開に対する理解を深める。 ・「地球世界の課題」の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に探究し、よりよい社会を展望する。 				
評価の観点・評価方法	知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 		思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的な課題の解決を視野に入れて構想したり、その考察や構想を基に議論したりすることができる。 	主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。 				
	上記の観点を踏まえ、定期考查、小テスト、授業内の諸活動や取組姿勢、提出物、課題、授業態度等を総合的に判断して評価する。							
学習のアドバイス	1 授業は、単元ごとの学習課題について理解を深め、単元の最後にその課題についてまとめる形式で進めるので、授業プリントをきちんと取り組む。小テストを行う場合もある。 2 定期考查は教科書や副教材に書いてあることだけでなく、授業内で学習したことが出題されるため、授業中の先生の話なども、メモしておいて、考查前に見直すとよい。 3 授業内の諸活動(議論や発表等)の取組姿勢も評価されるので、積極的に参加すること。							
教材費	ニュースステージ世界史詳覧：970 円（税込）							
その他	特になし							

教科名	地理歴史	科目名	日本史探究	単位数	2			
授業形態	講義形式、問題演習							
選んで ほしい生徒	四年制大学への進学を希望する文理コースの生徒							
科目の目標	日本国の歴史について、その時代的背景としての政治、経済、社会、文化、対外関係などを総合的に理解させ、それに基づく歴史的思考力と探究する力を育成する。							
身に付けて ほしい学力	1 大学等の専門的教育に対応しうる歴史的素養や思考力 2 大学入学共通テストに対応できる学力 3 四年制大学の一般入試に対応できる学力							
学習計画	単元・教材	学習のあらまし						
	【1学期】 ・日本文化のあけぼの ・律令国家の形成 ・貴族政治と国風文化 ・中世社会の成立 ・武家社会の成長 ・幕藩体制の確立	・旧石器時代から鎌倉時代の初期までの日本列島における政治・社会・文化等について周辺諸国の動向と関連付けながら学習する。 ・室町・戦国期を経て、織豊政権、続く徳川政権の成立過程を中心に総合的に学習する。						
	【2学期】 ・幕藩体制の展開 ・幕藩体制の動搖 ・近代国家の成立 ・近代日本とアジア	・近世中期以降、明治新政府の誕生から20世紀初頭までの日本の歴史を概観し、政治・外交史を中心に学習する。						
	【3学期】 ・占領下の日本 ・高度成長の時代 ・激動する世界と日本	・2つの世界大戦を中心に国際社会の影響を受け、諸外国に翻弄される日本の政治・社会について学習する。 ・戦後日本の経済発展と冷戦という世界情勢の中の日本国の状況を中心に学習する。						
評価の観点・ 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
	・日本の歴史についての基本的事項を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身に付けている。 ・日本の歴史に関する諸資料を収集し、活用することで、歴史的事象を追求する方法を身に付けている。	・日本と世界の相互の関わり、地域社会の変化に着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し、我が国の歴史の画期を見いだし、根拠を示して表現している。	・日本の歴史の展開に対する関心と課題意識を持ち、意欲的に迫及するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる態度を身に付け、探究しようとしている。。					
学習の アドバイス	上記の観点を踏まえ、定期考查、授業態度、課題、レポート等の提出物を総合的に判断して評価を行う。							
	1 予習・復習を確實にする。あらかじめ学習内容を把握して授業に臨むことにより、理解度は確実にあがる。また、ノートや配布プリント、問題集などを活用し、しっかりと復習し既習事項の定着を図ろう。 2 身近な地域の歴史にも興味・関心を持とう。自分の住む地域や北条高校周辺の歴史を知ることにより、より一層日本史が身近なものと感じることができる。例えば古墳や寺社、城址、または博物館などを訪れてみるとよいでしょう。 3 授業内の諸活動（議論や発表等）の取組姿勢も評価されるので、積極的に参加すること。							
教材費	問題集 590円（税込）・資料集 906円（税込）							
その他	国際化、多様化が進む現代社会において、自国の歴史・文化を世界史的な視野に立って理解することの重要性は一層高まっています。異文化を理解する前に、日本の歴史を学びましょう。							

教科名	地理歴史	科目名	世界史A（3年次）【2単位】
授業形態	講義形式		
選んで ほしい生徒	2年次に世界史A・世界史Bを履修していない生徒（3年次）		
科目の目標	近現代史を中心とする世界の歴史を学び、これから学ぶ課題を多角的に考えることを通じて、国際社会で主体的に生きる力を養う。		
身に付けて ほしい学力	1 社会人として必要とされる程度の世界の歴史、特に近現代史に対する理解を深める。 2 時事問題に関心をもち、それに対する自らの考えを適切に表現することができる力。		
学習計画	単元・教材 【1学期】 1 前近代の諸文明 2 一体化に向かう社会 【2学期】 3 欧米の工業化とアジア諸国の動搖 4 現代社会の芽生えと世界大戦 【3学期】 5 冷戦から地球社会へ		学習のあらまし
評価の観点・ 評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能 知識・理解
	・世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	・現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して、歴史的事象を追求する方法を身に付けている。 ・諸地域世界の歴史的特質と交流の様相を把握し、国際社会を理解するのに必要な基本的知識を身に付けているとともに、世界の歴史について、基本的人権の発展と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
	上記の観点を踏まえ、定期考查、授業態度、課題、レポート等の提出物を総合的に判断して評価を行う。		
学習の アドバイス	1 世界史は決して「よその国の話」だけではありません。日本との関係を意識しながら学習すると、楽しくなると思います。 2 この授業をとおして、「歴史を学ぶ」だけでなく「歴史から学ぶ」面白さを感じてもらえばうれしいです。 3 定期考查は、授業内容をきちんと理解し、入念な準備をすれば高得点がとれるはずです。しっかり取り組んでください。		
教材費			
その他	大学受験等には対応していない科目なので注意してください。		

教科名	地理歴史	科目名	日本史A（3年次）【2単位】		
授業形態	講義形式				
選んで ほしい生徒	日本の近現代史に関心を持っている人（日本史Aと地理Aから選択して履修する）				
科目の目標	我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることにより、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
身に付けて ほしい学力	1 日本の近現代史に対する理解を深め、社会人としての教養や常識を養う。 2 現代の諸課題に関心を持ち、歴史と関連づけて考える姿勢を身に付ける。				
単元・教材		学習のあらまし			
【1学期】 第1部 私たちの時代と歴史 第2部 近現代の日本と世界 第1章 近代国家の形成と国際関係の推移 第1節 近代への胎動 第2節 開国と幕末の動乱 第3節 近代国家の形成 第4節 国際関係の推移と近代産業の発展		<ul style="list-style-type: none"> 日本の近現代の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて学習する。 現代の諸課題の形成に関わる日本の近現代の歴史について学習する。 現代の諸課題を歴史と関連付けて考え、議論や発表を行う。 			
【2学期】 第2章 両大戦をめぐる国際情勢 第1節 第一次世界大戦と日本 第2節 第二次世界大戦と日本 第3章 現代の日本と世界 第1節 日本の再出発 第2節 独立後の政治と経済の発展					
【3学期】 第2節 独立後の政治と経済の発展 第3節 現代の日本と世界					
評価の観点・ 評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能		
	・日本の近現代史の大きな枠組みと流れに 관심を持ち、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる態度を身に付けています。	・日本の近現代史の展開から課題を見出し、日本を取り巻く国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・日本の近現代史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することで、歴史的事象を追求する方法を身に付けています。		
上記の観点を踏まえ、定期考查、グループワーク、発表授業態度、課題、レポート等の提出物を総合的に判断して評価を行う。					
学習の アドバイス	1 授業を大切にし、板書事項を参考にして独自のノートづくりをしよう。 2 教科書を参考にし、歴史の流れをつかもう。 3 グループワークや発表など、授業内の諸活動に積極的に参加しよう。				
教材費					
その他	国際化が進展する中で、日本の近現代史を理解しておくことはますます重要になっています。現代の諸課題を解決するために、日本の歴史を学んでいきましょう。				

教科名	地理歴史	科目名	日本史研究（3年次）【5単位】			
授業形態	講義形式、問題演習					
選んでほしい生徒	2年次において日本史Bを履修した生徒で、さらに愛媛の歴史を理解し、ふるさと愛媛への誇りと愛着心を育む。また、愛媛の歴史を日本史全体の流れの中に位置付けることにより、多面的な歴史観を身に付ける。					
科目の目標	愛媛の歴史と日本の歴史を総合的に学習し、問題演習を重ねることにより、多面的な歴史観を身に付けさせる。					
身に付けてほしい学力	1 大学入学共通テストに対応できる学力 2 総合研究に対応できる学力 3 日本史の流れの中での愛媛についての歴史的素養や思考力					
	単元・教材	学習のあらまし				
学習計画	【1学期】 <ul style="list-style-type: none">・原始・古代・中世・近世	<ul style="list-style-type: none">・原始から中世までの日本の歴史を概観し、政治・外交史を中心に学習する。				
	【2学期】 <ul style="list-style-type: none">・近代・現代・研究I	<ul style="list-style-type: none">・2つの世界大戦を中心に国際社会の影響を受け、諸外国に翻弄される日本そして愛媛の政治・社会について学習する。				
	【3学期】 <ul style="list-style-type: none">・研究II	<ul style="list-style-type: none">・学習した中で、一番興味・関心のあったテーマについてレポートを作成させる。				
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解		
	・日本の歴史の展開に対する関心と課題意識を持ち、意欲的に追及するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる態度を身に付けていく。	・日本・愛媛の歴史の展開から課題を見出し、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察できる。また、その過程や結果を適切に表現している。	・日本・愛媛の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して、歴史的事象を追求する方法を身に付けている。	・日本・愛媛の歴史についての基本的事項を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身に付けている。		
上記の観点を踏まえ、定期考查、授業態度、課題、レポート等の提出物を総合的に判断して評価を行う。						
学習のアドバイス	1 日本史B（2年次）の内容を理解し、知識を定着しておくことが望ましい。少しづつで良いので問題演習を自分で進めていってほしい。 2 日本史B（2年次）同様、身近な地域の歴史にも興味・関心を持とう。自分の住む地域や北条高校周辺の歴史を知ることにより、より一層日本史が身近なものと感じることができる。例えば古墳や寺社、城址、または博物館などを訪れてみるとよい。					
教材費	高校生のための「愛媛県史」学習資料集 学校より貸し出し					
その他	5単位の授業					

教科名	公民	科目名	公共（2年次）	単位数	2			
授業形態	講義形式							
選んで ほしい生徒	2年次生全員（必履修）							
科目の目標	よりよい社会の実現のために、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。							
身に付けて ほしい学力	現代社会の諸課題解決のための概念や理論を学び、それを活用して事実を多面的・多角的に考察する力や議論する力を身に着ける。							
学習計画	単元・教材	学習のあらまし						
	【1学期】 第1部 公共の扉 第2部 よりよい社会の形成と参画 第1章 私たちの生活と法	・高校生の自分と社会とのつながりを学ぶ。 ・社会の中のさまざまな法とその必要性について学ぶ。						
	【2学期】 第2部 よりよい社会の形成と参画 第2章 私たちの生活と政治 第3章 平和主義と日本 第4章 私たちの生活と経済	・日本の政治機構の仕組みを学び、主権者としての責任を自覚する。 ・経済活動の意義について学ぶ。						
	【3学期】 第2部 よりよい社会の形成と参画 第5章 私たちの生活と国際社会 第3部 持続可能な社会を創る	・国際社会の一員として、持続可能な社会の形成のための行動について考える。						
評価の観点・ 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
	・現代の諸課題を考察し、選択・判断するための手掛けかりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に着けている。	・現代社会の諸課題の解決に向けて必要となる考え方や原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、社会参画を視野に入れながら構想したことと議論する力を身に着けている。	・現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、その平和と繁栄を図ること、協力し合うことの大切さについての自覚を持っている。					
上記の観点を踏まえ、定期考查、出席状況、発表、提出物、課題、授業態度等を総合的に判断して評価する。								
学習の アドバイス	1 授業中の活動に積極的に参加し、教科書をしっかりと読みましょう。 2 定期考查では、ワークノートやワークブックの重要語句を覚え、意味を説明できるようになっておきましょう。							
教材費	補助教材 私たちの公共 ワークノート 759円（税込） テーマ別資料 公共2023 930円（税込） ※文理生のみ							
その他	特になし							

教科名	公 民	科目名	政治・経済（3年）【2単位】
授業形態	講義形式		
選んで ほしい生徒	1 政治・経済で大学受験を希望する生徒。 2 法学・経済系学部への進学を希望する者など、政治・経済に強い関心のある生徒。		
科目の目標	社会人として必要な政治・経済・国際関係についての基礎的な知識を学習し、現代の諸課題を多角的に考え、主体的に生きる力を養う。		
身に付けて ほしい学力	1 政治経済、国際社会の諸課題についての基礎的な知識を得ること。 2 時事問題に関心をもち、多角的に考察しながら、それらに対する自らの考えを適切に表現することができる力。		
学習計画	単元・教材 【1学期】 1 現代経済の特質 【2学期】 2 現代日本の経済 3 国際経済と日本 4 現代日本の諸課題 【3学期】 5 国際社会の諸課題		学習のあらまし
評価の観点・ 評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能 知識・理解
	<ul style="list-style-type: none"> 現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現について客観的に考察しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の政治、経済、国際関係に関わる事象から課題を見出し、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けている。
	上記の観点を踏まえ、定期考查、授業態度、課題、レポート等の提出物を総合的に判断して評価を行う。		
学習の アドバイス	1 新聞を読んだり、ニュースを見たりして時事問題に関心を持ちましょう。 2 現代社会の課題について取り上げた本を一冊以上読みましょう。		
教材費	副教材 940円（税込）		
その他	火・金7限目の授業		